

序章	長期構想委員会の概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
<b>第4章</b>	<b>境港が今後担うべき役割</b>
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向

# 境港への要請と課題への対応(案)

分類	社会的要請・課題	関係者からの主な要請・課題	課題への対応(案)
物流 ・ 産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>船舶の大型化(コンテナ、バルク)</li> <li>日本海側拠点港湾としての機能強化</li> </ul>	<p>&lt;コンテナ貨物への対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>船舶の大型化への対応した岸壁の増深・延長確保、ヤード拡張等が必要。</li> <li>ガントリークレーンの能力不足。</li> <li>リーファー電源の不足。</li> <li>航路サービスの充実が必要。</li> <li>荷役対応の充実が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンテナターミナルの整備</li> <li>○新規ふ頭用地の造成</li> <li>○リーファー電源の増設</li> <li>○ガントリークレーンの増設</li> <li>○航路誘致活動</li> <li>○AIやIoTを活用した荷役の効率化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農水産品輸出ニーズへの対応</li> </ul>	<p>&lt;バルク貨物への対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>船舶の大型化に対応した施設整備(増深、延長確保)が必要。</li> <li>クルーズ船とのバッティングへの対応が必要。</li> <li>新規貨物(バイオマス発電関連貨物など)の増加により、バルク貨物の用地が不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バルク対応の施設整備</li> <li>○新規ふ頭用地の造成</li> <li>○用途を踏まえたゾーニング</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャーシ相互通行など多様な国際複合一貫輸送サービスの実現</li> </ul>	<p>&lt;内外貿フェリー・RORO貨物への対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内航のハブや対北東アジアとのハブとしての可能性の検討。</li> <li>国際フェリー航路のターミナルの狭隘化、貨物スペース不足への対応が必要。</li> <li>関東や九州向けの出荷について海上輸送ニーズへの対応(航路開設)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際フェリー航路による貨物輸送の推進。</li> <li>○シャーシ相互通行の実現に向けた検討</li> <li>○内航定期航路の開設に向けた誘致活動</li> <li>※竹内南地区の貨客ターミナル供用開始により、スペース不足等には対応見込み</li> </ul>
		<p>&lt;外郭施設の整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静穏度に課題がある施設がある。</li> <li>また新規整備の施設について、風の影響や反射波の影響など、不安がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○静穏度を確保するため泊地改修等の施設整備</li> <li>○航路の見直し</li> </ul>
		<p>&lt;背後とのアクセス道路の整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道431号の渋滞や境港が物流・人流の両面において問題となっており、境港～米子間のアクセス道路の改善が課題。</li> <li>竹内から江島に向けた道路が渋滞している等、物流・人流の島根県側へのアクセス不足も考慮すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○境港－米子間の高速道路の整備</li> <li>○境港－島根間の道路網の整備</li> </ul>

# 境港への要請と課題への対応(案)

分類	社会的要請・課題	関係者からの主な要請・課題	課題への対応(案)
<b>物流 ・ 産業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶の大型化(コンテナ、バルク)</li> <li>・日本海側拠点港湾としての機能強化</li> <li>・農水産品輸出ニーズへの対応</li> <li>・シャーシ相互通行など多様な国際複合一貫輸送サービスの実現</li> </ul>	<p>&lt;土地利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浚渫土砂の受け入れを検討すべき。</li> <li>・外港北物揚げ場の陸地化を望む。</li> <li>・中野地区は漁港に近接しており、配慮が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規ふ頭用地の造成</li> <li>○ふ頭用地整備、ゾーニング</li> </ul>
		<p>&lt;倉庫・保管機能の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉庫が不足気味(製紙工場関連)。</li> <li>・境港には米の置き場がなく、広島や東京まで輸送している。</li> <li>・単板等を保管するための倉庫が少ない。</li> <li>・低温管理のできる公共上屋が不足。</li> <li>・冷凍倉庫の老朽化。</li> <li>・2020年フロン全廃に対応した冷蔵倉庫等のリプレースの遅れ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふ頭用地整備による倉庫用地の確保</li> </ul>
		<p>&lt;港湾サービスの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境港は利用頻度の少なさから、タグボートが常駐しておらず、タグボートの使い勝手が悪い。</li> <li>・将来の入港隻数増を鑑みれば、タグボートは不足する見通し。</li> <li>・鳥取港、浜田港の利用状況も踏まえた、タグボートの運用を検討すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当港関係船会社、他港関係者等と協議し、タグボートの円滑な利用を図るための方策を検討</li> </ul>
		<p>&lt;物流全般&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックドライバーや港運業者が少ない。</li> <li>・荷役コストが高い。</li> <li>・超過船及び岸壁対象船種類外船舶入港着岸の常態化。</li> <li>・航路・泊地も含め、船舶の大型化、及び操船者にゆとりのある対応。</li> <li>・第1航路と第2航路の重複。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AIやIoTを活用した荷役の効率化</li> <li>○船舶の大型化を踏まえた岸壁整備、及びゾーニング</li> <li>○航路の見直し、及びゾーニング</li> </ul>

# 境港への要請と課題への対応(案)

分類	社会的要請・課題	関係者からの主な要請・課題	課題への対応(案)
<p style="text-align: center;">人流 ・ 賑わい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船寄港増への対応</li> <li>・インバウンド旅客への対応</li> </ul>	<p>&lt;国際フェリー・クルーズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹内南地区における商業施設等の立地。</li> <li>・境港駅との接続バスの運行頻度の増加。</li> <li>・クルーズ客と市民が集う賑わい交流拠点や海の駅の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物流と人流のゾーニング</li> <li>○公共交通機関とのアクセスの改善</li> </ul>
	<p>&lt;マリーナ・釣り施設等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マリーナの早期整備。保管能力の向上。</li> <li>・人工海浜の整備。</li> <li>・航路幅が狭く、船舶の行き会いが困難。</li> <li>・沖合も睨んだ釣り棧橋の整備とその開放。</li> <li>・緑地の有効活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陸上保管施設(ヤード)の拡充</li> <li>○沖合展開も睨んだ魚釣り施設の整備</li> <li>○他のレクリエーション施設との連携検討</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">安全 ・ 安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害への対応／リダンダンシー確保の重要性の高まり</li> <li>・ドライバー不足によるモダルシフトニーズへの対応</li> <li>・広域バックアップ機能の確保</li> <li>・進むインフラの老朽化への対応</li> <li>・少子高齢化による労働者不足への対応</li> </ul>	<p>&lt;大規模災害等への対応・広域バックアップ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪対応が民間のみで不十分なため、対応が遅れ、ポートクローズが発生。</li> <li>・太平洋側ルート被災時の代替輸送を担うバックアップ機能の整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内航定期RORO航路の開設</li> <li>○境港BCPIにおける除雪対応の位置づけ</li> <li>○迅速な代替輸送に対応するための体制づくり</li> </ul>
	<p>&lt;インフラの老朽化・少子高齢化への対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーチスタッカーやトップリフターなど荷役機械の老朽化。</li> <li>・岸壁など港湾施設全般の老朽化が進行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTの利活用によるインフラの維持管理の効率化</li> <li>○施設老朽化を踏まえた貨物の集約化及びふ頭再編</li> <li>○AI,IoTを活用した荷役等の効率化</li> </ul>	

# 境港への要請と課題への対応(案)

分類	社会的要請・課題	関係者からの主な要請・課題	課題への対応(案)
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルポートとしての機能強化</li> <li>・再生可能エネルギー需要への対応</li> </ul>	<p>&lt;リサイクルポート・エネルギー産業支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス発電関連貨物の受け入れ機能強化。</li> <li>・リサイクル関連施設も含めたリサイクルゾーンの設定が必要。</li> <li>・鉄スクラップの輸出ニーズに対応した岸壁・ヤードの整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギー産業の港湾利用ニーズへの対応</li> <li>○リサイクル資源の取り扱い機能の強化</li> </ul>
		<p>&lt;環境への配慮&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺工場の副次的なエネルギーの再利用。</li> <li>・港湾整備の生態系への影響への配慮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業の環境活動に必要な行政支援の検討</li> <li>○必要に応じた環境アセスの実施</li> </ul>

# 境港の課題への対応(案)

## 物流・産業

○ガントリークレーンの増設

○バルク対応の施設整備

○コンテナターミナルの整備

○リーファー電源の増設

○ふ頭用地整備による倉庫用地の確保

○用途を踏まえたゾーニング

○新規ふ頭用地の造成

○シャーシ相互通行の実現に向けた検討

○国際フェリー航路による貨物輸送の推進

○公共交通機関とのアクセスの改善

○リサイクル資源の取り扱い機能の強化

○AI, IoTを活用した荷役等の効率化

○静穏度を確保するため泊地改修等の施設整備

○物流と人流のゾーニング

○他のレクリエーション施設との連携検討

## 環境

○企業の環境活動に必要な行政支援の検討

○航路の見直し

○内航定期RORO航路の開設

## 人流・賑わい

○マリーナ陸上保管施設(ヤード)の整備

○船会社など関係者と協議し、タグボートの円滑な利用を図るための方策を検討

○マリーナ堆砂対策

○必要に応じた環境アセスの実施

○ICTの利活用によるインフラの維持管理の効率化

○迅速な代替輸送に対応するための体制づくり

○境港BCPにおける除雪対応の位置づけ

## 安全・安心

# 境港が今後担うべき役割(将来像と目標)

## 物流・産業

【将来像】北東アジアとのゲートウェイとなる中国地方日本海側拠点港湾

- 目標1 北東アジアとの国際定期航路(コンテナ・フェリー)サービスの充実による北東アジアゲートウェイ機能の形成
- 目標2 背後圏の産業活動を支え、地域の発展に寄与する港湾の形成

## 人流・賑わい

【将来像】魅力ある山陰観光と連携した交流拠点港湾

- 目標3 背後圏と連携したクルーズ拠点、観光客や市民が親しめる親水空間・賑わい空間の形成
- 目標4 レクリエーションやマリンスポーツの振興に寄与する港湾の形成

## 安全・安心

【将来像】国土の強靱化を支える境港

- 目標5 市民生活や背後圏企業のBCPを支える港湾の形成
- 目標6 中国地方の広域バックアップ機能を担う港湾の形成

## 環 境

【将来像】豊かな自然環境と共存し、環境関連産業を支える港湾

- 目標7 豊かな自然環境と共存し、地域の魅力向上に寄与する港湾の形成
- 目標8 持続可能な循環型社会を支える環境先進港湾の形成